

「珈琲とエンピツ」20日から上映 福島

聴覚障害と
絆がテーマ

初日に舞台あいさつ

静岡県湖西市に住む
耳の不自由な太田辰郎
さんの日常を追ったド
キュメンタリー映画
「珈琲とエンピツ」は、
二十日から二十六日ま
で福島市のフォーラム
福島で上映される。

太田さんはサーフィ
ン関連商品とハワイア
ン雑貨を販売する「S
urf House
Ota(サーフ・ハウ
ス・オオタ)」を運営し
ている。自身もサーフ
インを楽しみ、サーフ
ボード職人でもある。
太田さんは店を訪れ
た人にコーヒーを振る

「珈琲とエンピツ」の
一場面。右が太田さん県立聾学校福島分校に映画チケ
ットを贈呈した末永さん(中央)

舞い、筆談や身ぶり手
ぶり、手話でコミュニ
ケーションをとる。映
画は「聞こえる／聞こ
えない」を超えて人の
輪が広がっていく様子
を映し出し、絆とは何
かを問い掛ける。耳が
不自由な今村彩子さん
が監督を務めた。

本県での上映は太田
さんの友人である福島
市の末永哲也さんらが

実行委員会を組織し実
現した。初日の二十日
は午前十時半から太田
さんと今村さんの舞台
あいさつがある。問い
合わせはフォーラム福
島 電話024(53
3)1717。

県立聾学校福島分
校にチケット贈る
上映会実行委
「珈琲とエンピツ」福

島上映会実行委員会
(末永哲也代表)は十
日、県立聾学校福島分
校の児童、保護者、教
職員に映画チケットを
贈った。

末永さんが千葉市で
催された千葉市聴覚障
害者協会の創立五十周
年大会で講演した際、
参加者から浄財が寄せ
られ、その益金を充て
た。

贈呈式は同校で行わ
れた。四年生以上の児
童と教職員約二十人が
出席した。

安藤俊典県立聾学校
福島分校長が同校の卒
業生でもある末永さん
を紹介した後、末永さ
んが「伝えたいという
気持ちが大切です。コ
ミュニケーションがで
きれば、立派な大人に
なれます」とあいさつ
し、児童代表の西坂和
(やわら)君(六年生)
にチケットを手渡し
た。

長谷川彩乃さん(五
年生)が「映画を楽し
みにしています」とお
礼を述べた。

末永さんの妻智子さ
ん、長男の碧偉(あお
い)君(矢野目小四年
生)が同席した。